

難解研究 軽いノリで聴いて

豊橋技科大 地元FMに番組

国立大学法人豊橋技術科学大(愛知県豊橋市)が七月五日から毎週一回、FM豊橋(同市)の番組の「コーナー」を担当し、大学の研究の紹介を始める。ラジオ番組を使った大学の情報発信は珍しい。



プラズマに関する研究について取材するFM豊橋のパーソナリティの渡辺さん(左)と愛知県豊橋市の豊橋技術科学大で

技科大は全国の高専卒業生を中心に学生を集め、大学院を含めた学生

技科大が受け持つのは、毎週土曜日の午後一時六時に放送されているFM豊橋の看板番組「84の3(やしの実)ウェーブ THE BURR」による競争も進んでいない。このため講演などに「N」内の約十分。番組による一方的な発信ではパーソナリティの渡辺欣く、パーソナリティと来月5日からHPでも音声

生さん(右)が、研究室にの軽妙なやりとりの中、研究を楽しく紹介で研究の意義などを担当教員のラジオに目を付け、員らと語り合っ。冗談を大学側がFM豊橋に放送交えながらの軽いノリを打診していた。

「で、世界に誇れる研究の魅力を分かりやすくアピールする。FM豊橋の聴取エリアは、東三河や静岡県西部に限られているため、放送後に大学のホームページでシ上で音声を流す。技科大は「ラジオを通じ、リや、全方向に進める電動スナード研究者との関係車を、人間の視聴覚のを身近にしたい」と話しメカニズム解明などの研

この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています